

蒲生干潟周辺の塩分濃度 70

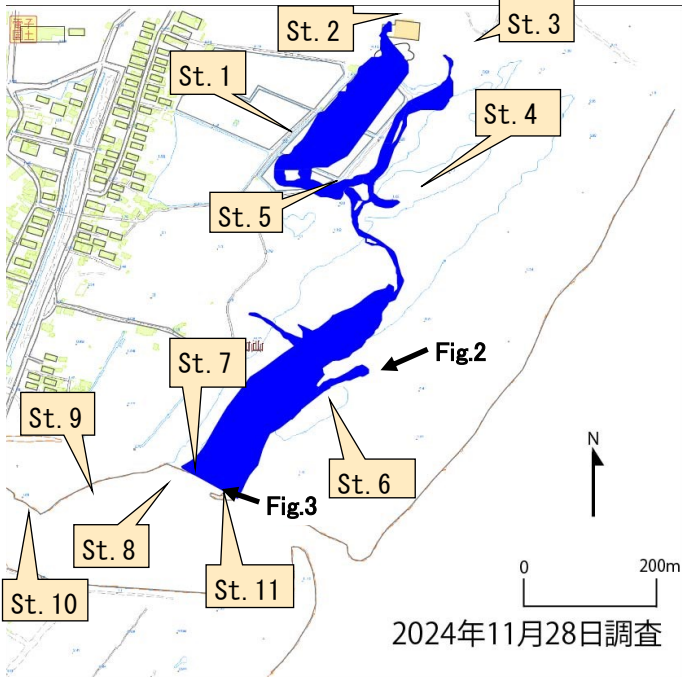


Fig.1 2024/11/28 採水点

Table.1 2024. 11月 塩分濃度(%)

採水点	2024 11/28	2024 10/23	増減	2023 11/29	増減
St. 1	2.1	1.8	0.3	1.5	0.6
St. 2	1.7	1.3	0.4	1.5	0.2
St. 3	2.0	1.2	0.7	2.0	-0.1
St. 4	2.7	2.9	-0.2	2.0	0.7
St. 5	2.4	2.3	0.1	2.4	0.0
St. 6	2.7	3.2	-0.5	3.0	-0.3
St. 7	3.4	3.3	0.1	3.4	0.0
St. 8	3.4	3.3	0.1	3.5	-0.1
St. 9	3.0	3.1	-0.1	3.4	-0.5
St. 10	2.2	3.2	-1.0	3.4	-1.2
St. 11	3.4	3.5	-0.1	1.6	1.8

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 南東潟湖末端の様子



Fig.3 導流堤から水が流れ込む様子

調査日時：2024年11月28日（木）09:30~11:00（満潮 13:13 潮位 137cm），天気：晴れ

満潮に向かう時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2024.11月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2024.10月，2023.11月）結果と比較した。

満潮に向かう時間のため、潟湖内の水は多かった。St.6付近の南東潟湖では、末端までしっかりと水量を保っていた（Fig.2）。また、導流堤から潟湖内に向かい勢いよく水が流れ込んでいた（Fig.3）。塩分濃度は、北側潟湖で全体的に高い値を示した。特に最北端部のSt.3では、今年初めて2.0%を上回った。南側の潟湖については、河口付近のSt.10の値は2.2%であったが、潟湖内の濃度は高めの値を保っていた。昨年度と比較すると、潟湖内（St.1~St.7）の濃度は、概ね同様の値を示した。

（沼尾和弥）